

教育学研究科規程 別表1 教職実践専攻

【学校マネジメントコース】

区分	領域	提案科目名	必修	選択
共通科目	教育課程の編成・実施に関する領域	ふるさと秋田の教育資源とカリキュラム開発	2	
		個のニーズに応じたカリキュラムの編成 ※		2
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	秋田の授業力の継承と発展	2	
		ICTを活用した教育の実践と課題		2
	生徒指導・教育相談に関する領域	児童生徒指導の理論と実践	2	
		インクルーシブの理念と特別支援教育の推進 ※		2
	学級経営、学校経営に関する領域	学校・学級経営の現状と課題	2	
		学校危機管理の現状と課題	2	
	学校教育と教員の在り方に関する領域	学校教育の現代的課題	2	
		教育実践力の向上と秋田型協同研究システム		2
コース科目	学校マネジメント	秋田の生涯学習の理論と実践		2
		学社連携・融合の理論と実践		2
		学校組織文化の形成と機能		2
		学校情報の管理と運営		2
		地域教育行財政の理論と実践		2
		学校経営をめぐる法と判例	2	
		学校経営戦略の分析と策定	2	
		スクールリーダーの役割と課題	2	
		教員の服務管理と人事考課	2	
		カリキュラム・授業開発	ふるさと秋田のキャリア教育	
	小学校英語の理論と実践			2
	生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価			2
	国際理解教育の教材とカリキュラムの開発			2
	情報教育の教材とカリキュラムの開発			2
	環境教育の教材とカリキュラムの開発			2
	ふるさと秋田における地域課題教育			2
	道徳教育の理論と実践			2
	特別活動の理論と実践			2
	秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価			2
	発達教育・特別支援教育	小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発 I		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発 II		2
		障害児支援におけるチームアプローチ ※		2
		発達障害の事例分析と対応策の検討・評価 ※		2
		コミュニケーション発達の理解と支援 ※		2
		障害児のキャリア発達と支援 ※		2
		特別支援教育の教育課程の実施と評価 ※		2
		知的障害児の理解と支援 ※		2
		肢体不自由児の理解と支援 ※		2
		病弱児の理解と支援 ※		2
	実践省察科目	現代教育思想と学びの諸相		2
		子ども理解の理論と実践		2
		子どもの発達と教育		2
		子どもの教育と保育		2
		学校カウンセリングの理論と実践		2
		教育活動と心理学		2
		授業実践と学習心理学		2
		児童生徒の認知と発達 I		2
		児童生徒の認知と発達 II		2
		実践実習科目	教職実践リフレクション I	2
	実践実習科目	教職経営プロジェクト	4	

1. ※を付した科目は特別支援学校教諭専修免許状取得のための科目である。

教育学研究科規程 別表1 教職実践専攻

【カリキュラム・授業開発コース】

区分	領域	提案科目名	必修	選択
共通科目	教育課程の編成・実施に関する領域	ふるさと秋田の教育資源とカリキュラム開発	2	
		個のニーズに応じたカリキュラムの編成	※ 2	
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	秋田の授業力の継承と発展	2	
		ICTを活用した教育の実践と課題	2	
	生徒指導・教育相談に関する領域	児童生徒指導の理論と実践	2	
		インクルーシブの理念と特別支援教育の推進	※ 2	
	学級経営・学校経営に関する領域	学校・学級経営の現状と課題	2	
		学校危機管理の現状と課題	2	
	学校教育と教員の在り方に関する領域	学校教育の現代的課題	2	
		教育実践力の向上と秋田型協同研究システム	2	
コース科目	学校マネジメント	秋田の生涯学習の理論と実践		2
		学社連携・融合の理論と実践		2
		学校組織文化の形成と機能		2
		学校情報の管理と運営		2
		地域教育行財政の理論と実践		2
	カリキュラム・授業開発	ふるさと秋田のキャリア教育	2	
		小学校英語の理論と実践	■	2
		生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価		2
		国際理解教育の教材とカリキュラムの開発		2
		情報教育の教材とカリキュラムの開発		2
		環境教育の教材とカリキュラムの開発		2
		ふるさと秋田における地域課題教育		2
		道徳教育の理論と実践		2
		特別活動の理論と実践		2
		秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価	2	
	小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅰ		2	
	小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅱ		2	
	発達教育・特別支援教育	障害児支援におけるチームアプローチ	※	2
		発達障害の事例分析と対応策の検討・評価	※	2
		コミュニケーション発達の理解と支援	※	2
		障害児のキャリア発達と支援	※	2
		特別支援教育の教育課程の実施と評価	※	2
		知的障害児の理解と支援	※	2
		肢体不自由児の理解と支援	※	2
		病弱児の理解と支援	※	2
		現代教育思想と学びの諸相		2
		子ども理解の理論と実践		2
		子どもの発達と教育		2
		子どもの教育と保育		2
		学校カウンセリングの理論と実践		2
教育活動と心理学			2	
授業実践と学習心理学			2	
児童生徒の認知と発達Ⅰ		2		
児童生徒の認知と発達Ⅱ		2		
実践省察科目	教職実践リフレクションⅠ		2	
	教職実践リフレクションⅡ		2	
実践実習科目	教職実践プロジェクトⅠa	●	4	
	教職実践プロジェクトⅠb	● ※	4	
	教職実践プロジェクトⅡa	●	6	
	教職実践プロジェクトⅡb	● ※	6	
	教職実践インターンシップⅠa	○	4	
	教職実践インターンシップⅠb	○ ※	4	
	教職実践インターンシップⅡa	○	6	
	教職実践インターンシップⅡb	○ ※	6	

1. ※を付した科目は特別支援学校教諭専修免許状取得のための科目である。

2. 小学校教諭専修免許状の取得を希望する学生は■を付した科目を受講すること。

3. 実践実習科目のうち、●は現職教員学生が対象の科目、○は現職教員以外学生が対象の科目である。

教育学研究科規程 別表1 教職実践専攻

【発達教育・特別支援教育コース】

区分	領域	提案科目名	必修	選択
共通科目	教育課程の編成・実施に関する領域	ふるさと秋田の教育資源とカリキュラム開発	2	
		個のニーズに応じたカリキュラムの編成	※	2
	教科等の実践的な指導方法に関する領域	秋田の授業力の継承と発展	2	
		ICTを活用した教育の実践と課題	2	
	生徒指導・教育相談に関する領域	児童生徒指導の理論と実践	2	
		インクルーシブの理念と特別支援教育の推進	※	2
	学級経営、学校経営に関する領域	学校・学級経営の現状と課題	2	
学校危機管理の現状と課題		2		
学校教育と教員の在り方に関する領域	学校教育の現代的課題	2		
	教育実践力の向上と秋田型協同研究システム	2		
コース科目	学校マネジメント	秋田の生涯学習の理論と実践		2
		学社連携・融合の理論と実践		2
		学校組織文化の形成と機能		2
		学校情報の管理と運営		2
		地域教育行財政の理論と実践		2
	カリキュラム・授業開発	ふるさと秋田のキャリア教育		2
		小学校英語の理論と実践	■	2
		生活科・総合的な学習の時間の授業デザインと評価		2
		国際理解教育の教材とカリキュラムの開発		2
		情報教育の教材とカリキュラムの開発		2
		環境教育の教材とカリキュラムの開発		2
		ふるさと秋田における地域課題教育		2
		道徳教育の理論と実践		2
		特別活動の理論と実践		2
		秋田型アクティブラーニングの授業デザインと評価		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅰ		2
		小・中・高連携の教科教育カリキュラムの開発Ⅱ		2
		発達教育・特別支援教育	障害児支援におけるチームアプローチ	※
	発達障害の事例分析と対応策の検討・評価		※	2
	コミュニケーション発達の理解と支援		※	2
	障害児のキャリア発達と支援		※	2
	特別支援教育の教育課程の実施と評価		※	2
	知的障害児の理解と支援		※	2
	肢体不自由児の理解と支援		※	2
	病弱児の理解と支援		※	2
	現代教育思想と学びの諸相			2
	子ども理解の理論と実践		2	
	子どもの発達と教育			2
	子どもの教育と保育			2
	学校カウンセリングの理論と実践			2
	教育活動と心理学			2
	授業実践と学習心理学			2
	児童生徒の認知と発達Ⅰ			2
	児童生徒の認知と発達Ⅱ			2
	実践省察科目	教職実践リフレクションⅠ		2
教職実践リフレクションⅡ			2	
実践実習科目	教職実践プロジェクトⅠa	●	4	
	教職実践プロジェクトⅠb	● ※	4	
	教職実践プロジェクトⅡa	●	6	
	教職実践プロジェクトⅡb	● ※	6	
	教職実践インターンシップⅠa	○	4	
	教職実践インターンシップⅠb	○ ※	4	
	教職実践インターンシップⅡa	○	6	
	教職実践インターンシップⅡb	○ ※	6	

1. 特別支援学校教諭専修免許状の取得を希望する学生は、※を付した科目から24単位以上取得すること。
2. 小学校教諭専修免許状の取得を希望する学生は■を付した科目を受講すること。
3. 実践実習科目のうち、●は現職教員学生が対象の科目、○は現職教員以外学生が対象の科目である。

教育学研究科規程 別表 2

心理教育実践専攻

心理教育実践コース

区分	科目区分	修得単位数	備考
必修	共通科目	6 単位	
	臨床心理士関連科目	16 単位	
選択	学校心理士関連科目	2 単位以上	
	臨床心理士関連科目	10 単位以上	A群からE群までの各科目群からそれぞれ2 単位以上
合計		34 単位以上	

教職実践専攻

学校マネジメントコース

区分	科目区分	修得単位数	備考
必修	共通科目	12 単位	各領域から1 科目ずつ5 科目10 単位及び他の共通科目から1 科目2 単位
	コース科目	8 単位	所属コースの必修科目4 科目8 単位
	実践省察科目	2 単位	修業年限2 年の場合は4 単位
	実践実習科目	10 単位	注(1) 参照
選択	共通科目及びコース科目	8 単位以上	共通科目及び所属のコース科目から4 科目8 単位以上 修業年限2 年の場合は6 単位以上
	コース科目及び他コース科目	6 単位以上	各コース科目から1 科目ずつ3 科目6 単位以上
合計		46 単位以上	

カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コース

区分	科目区分	修得単位数	備考
必修	共通科目	20 単位	
	コース科目	4 単位	所属コースの必修科目2 科目4 単位
	実践省察科目	4 単位	注(2) 参照
	実践実習科目	10 単位	注(3) 参照
選択	コース科目	4 単位以上	所属コースの科目から2 科目4 単位以上
	コース科目及び他コース科目	4 単位以上	所属コース及び他コース科目から2 科目4 単位以上
合計		46 単位以上	

注（１）学校マネジメントコースの学生は、「教職経営プロジェクト」４単位を必修とする。さらに、履修年限１年の学生は、実践実習科目１０単位のうち６単位分を免除する。ただし、免除することの代替として、以下の措置を取る。

- ① １年次前期のリフレクションを通じて「教職経営リフレクションレポートⅠ」を作成し、評価の上、２単位分として認定する。
- ② １年次後期のリフレクションのまとめとして、「教職経営リフレクションレポートⅡ」（学校経営アクションプラン）を作成し、評価の上、４単位分として認定する。このレポートを実践研究報告書として提出し、審査を受けるものとする。

履修年限が２年以上となる学生は、２年次に「教職実践プロジェクトⅡ」６単位を必修とし、加えて「教職実践リフレクションⅡ」を履修する。

- ① １年次のリフレクションを通じて「教職経営リフレクションレポートⅠ」を作成する。
- ② ２年次のリフレクションを通じて、「教職経営リフレクションレポートⅡ」（学校経営アクションプラン）を作成する。このレポートを実践研究報告書として提出し、審査を受けるものとする。

注（２）カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コースの学生は、「教職実践リフレクションⅠ」及び「教職実践リフレクションⅡ」の２科目４単位を必修とする。

- ① １年次のリフレクションを通じて「教職実践リフレクションレポートⅠ」を作成する。
- ② ２年次のリフレクションを通じて「教職実践リフレクションレポートⅡ（現職教員は、学校改善アクションプラン）」を作成する。このレポートを実践研究報告書として提出し、審査を受けるものとする。

注（３）カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コースの現職教員学生は、「教職実践プロジェクトⅠ」及び「教職実践プロジェクトⅡ」の２科目１０単位を必修とする。

カリキュラム・授業開発コース及び発達教育・特別支援教育コースの現職教員学生以外の学生は、「教職実践インターンシップⅠ」及び「教職実践インターンシップⅡ」の２科目１０単位を必修とする。